

Neues in Nara

Nr. 75

2021年5月7日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daiianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)



桜井市民会館での
フォーレ『レクイエム』演奏

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

●行事予定

1. 奈良日独協会・2021年度年次総会

当初、5月16日(日)午後より予定の上記総会は、コロナの情勢が依然として予断を許さない状況のため昨年同様、中止することにしました。2020年度の事業計画・会計報告及び2021年度の事業計画・予算について、理事会(オンライン)で承認されましたので、茲許同封の上送付申し上げます。今回は、特殊な事情なることご勘案し、同封のはがきによる書面での決議をお願いします。尚、2021年度の特記事項として副会長を含む一部理事の移動及び規約の一部改正が含まれていることご留意願います。

●行事報告

1. 岡田由美子さん(会員)のコンサート

3月20日宇陀市の「うだアニマルパーク」で、同パークの「命の教育」の一環として「いのちと向き合う岡田由美子さんのコンサート」が開催され、子供たちを始め多くの観客が詰めかけ、会場は笑顔にあふれていました。感染対策を入念に行った会場では、コロナ収束を祈って、数々の春の名曲が披露されました。岡田さんは、美しい日本の歌を次世代に受け継ぐ活動を展開されており、施設慰問や地元FMラジオの番組放送にも注力する傍ら、CD「こころの歌」を作成して、希望されている方に送り届けておられます。



2. 月刊「奈良」に大安寺と奈良日独協会の紹介記事

月刊「奈良」3月号に、連載記事「奈良旅の醍醐味」として会員の関口之洋さんから大安寺と奈良日独協会の紹介記事が掲載されましたのでご案内いたします。同記事では、大安寺の歴史に始まり、奈良日独協会誕生の経緯とその後の多くの活動の様子が詳しく語られています。是非会員の皆様のご一読頂くようお願いいたします(関連記事同封)。

●会員だより

山本昌代さんから

「第一回まほろば国際音楽祭」

私が代表理事を務める(一社)まほろば芸術ラボは2018年10月30日から11月3日までの6日間、桜井市で第一回まほろば国際音楽祭を開催しました。初日、桜井市民会館ロビーでオープニングセレモニーを行い、桜井市長、教育長、県会議員、地元企業の代表、寺社代表と多くの市民の皆様が集まり、テープカットによってスタートを切ったこの音楽祭は、セレモニー後のガラコンサートを皮切りに、大神神社、談山神社、等彌神社、聖林寺、土舞台の五箇所で開催を期し、最終日にはドイツから指揮者シュテファン・モア氏と氏の率いるベルヒテスガーデン・聖アンドレアス教会合唱団とザルツブルク・モーツァルト合唱団の一行85名を迎え入れ、桜井市民会館にて地元公募合唱団と合計150人余の合同合唱でテレマン室内オーケストラとフォーレ『レクイエム』を演奏いたしました。「歌舞謡曲」は本来人々の安寧を願ひ神仏にお供えしたものです。

この最も古い日本のまほろばの地で、ヨーロッパの方々と宗教や言葉の違いを超えて世界中の人々の安寧願ひ一堂に音楽を奏で歌うコンサートは約2年の準備期間を要し、その間、多くの苦労や困難を伴いましたが、近畿一円から集まった合唱団員と地元の方々、そしてヨーロッパからの合唱団員とそのご家族や随行員の方々、それらを音楽で繋ぐ素晴らしいフェスティバルとなりました。



フォーレ『レクイエム』のソロ 山本昌代さん



桜井市民会館ロビーでのオープニングガラコンサートで